# 三日月の館

yahoo!ブログのアメブロ版です。



人気有名作家の絵画版画作品を販売。 絵画・美術品の高価買取 無料査定。

シバヤマ

カレンダー

<< 3月 >> 日 火 水 月 木 金 土 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

### RRRRRRRRRR

このブログのフォロワー

fukugyou-tanteiさん

とある副業探偵の日記

フォロワー: 5 人 fruitsaladyogurtさん 暇人のテキトー日記 pants-kagawaさん 【パンツの教室・香川初】お家で楽しく性教育!一… aozai555≯A, めいのブログ

一瞥を見る

フォロー

フォローすると、このブログの更新情報が届きます。

ブログトップ

記事一覧

画像一覧

備前国分寺跡(岡山県…>

く浜松城天守門整備工事…

備前国府跡(岡山県岡山市)

テーマ:**ブログ** 

場所 岡山県岡山市中区国府市場

備前国の国府は岡山市にあったと云う。

地図貼り付け機能は 提供を終了しました。

#### 詳しい地図で見る

『和名抄』および『拾芥抄』によると備前国府は御野郡に設けられてい たというが、どこにあったか特定されていない。

しかし、御野郡から旭川を挟んで対岸の現岡山市中区には国府市場 という地名があり、付近では関連遺跡と思われるものが発見されてい るので、こちらに行ってみました。

国府市場へは、JR岡山駅から宇野バス四御神行きのバスに約20分 乗って市場西バス停下車。

バス停北の国府市場交差点を西へ左折する。

この道は旧山陽道。



旧山陽道沿いに備前国庁跡と云われる場所があります。

最新の記事

159 芥川山城(摂津国) 地黄城(摂津国) 熊骨ラーメン(愛知県新城 博多名物かしわめし(博多 焼餃子ダブル弁当(宇都宮 前川本城(陸前国) 牛~っとコシヒカリ(越後湯 沢駅) 163 黒井城 その3(丹波 国) 193 臼杵城 その2(豊後 193 臼杵城 その1(豊後

> 一覧を見る 画像一覧を見る

ブログ(1130) 目次(1) お城めぐり(1) 日本100名城(4) 日本100名城スタンプラリー (172) 100名城になれなかった名 城(1) 続日本100名城(137) 城(215) 訪城日記(52) 赤松氏(4) 名所旧跡(3) 鉄道関連(44) 名所旧跡関連(60) 鎌倉(1) 旅の風景(4) 京都(1)

> 京都史跡めぐり(51) 珍百景(2) 神社仏閣(2) 神社仏閣関連(46) 神社(14) 前へ 一の宮(22) コメント 国分寺(7) 記事一覧 国分尼寺(5)

> 教会・モスク(2) Fに戻る グルメ(1)

ご当地グルメ(6) グルメ関連(22)

鉄道(7)

https://ameblo.jp/kanezane2/entry-12555886163.html





備前国庁跡には、国長宮が鎮座している。



境内にある説明板



# 【備前国庁跡】

西暦8世紀に始まる我が国の律令制度では、地方行政の単位は国 で、各国の政務を行うために近畿の中央政府から「国司」が派遣され

国司が政務を執る官庁を「国庁」、それを中心に造られた都市を「国 府」と呼ぶ。

備前国の国府は、岡山市中区国府市場を中心とした地域にあったと みられ、この国長宮周辺から高島公民館、高島小学校辺りにかけては 古代・中世の建物跡や溝、土器などが随所から出土している。 道路の上では、国庁の位置や構造は未だ確定できていないが、国庁 宮の周辺には「北国長」・「国長」・「南国長」などの国庁に通じる地名 が残り、国庁があった場所と古くから想定されてきた。 また国長宮の参道前を東西に貫く里道は、古代から中世にかけては 近畿と九州を結ぶ大動脈であった山陽道を踏襲したものである。 国府市場の周辺には賞田廃寺・幡多廃寺や総社宮もみられ、一帯は 古代において備前の国の政治の中心地であった。



2019年10月(3)	
2019年09月(4)	
2019年08月(14)	
2019年05月(15)	
2019年04月(27)	
2019年03月(7)	
2019年02月(11)	
2019年01月(8)	
2018年12月(4)	
2018年11月(1)	
2018年10月(11)	
2018年09月(11)	
2018年08月(28)	
2018年06月(1)	
2018年05月(28)	
2018年04月(24)	
2018年03月(7)	
2018年02月(1)	
2018年01日(3)	
2017年11月(1)	
2017年09月(4)	
2017年08月(1)	
2017年07月(14)	
2017年06月(5)	
2017年05月(7)	
2017年04月(15)	
2017年02日(4)	
2017年03月(4)	
2017年01月(5)	
2016年12月(2)	
2016年10月(3)	
2016年06月(2)	
2016年05月(11)	
2016年04月(6)	
2015年08月(3)	
2015年07月(3)	
2015年06月(3)	
2015年05月(3)	
2015年04月(3)	
2015年03月(5)	
2015年02月(5)	
2015年01月(9)	
2014年12月(11)	
2014年11月(5)	
2014年10月(13)	
2014年09月(3)	
2014年08月(3)	
2014年07月(11)	
2014年06月(12)	コメント
	・・・ する
2014年05月(7)	
2014年04月(22)	記事一覧
2014年03月(23)	
2014年02月(21)	Fに戻る
2014年01月(28)	
2013年12日(31)	
2013年11月(19)	
2013年10月(12)	

平成22年3月 Ameba → ホーム → ピグ → アメブロ 岡山市教育委員会 2013年08月(10) 2013年07月(11) 2013年06月(15) 2013年05月(13) 2013年04月(3) 2013年03月(29) 2013年02月(25) 2013年01月(28) 2012年11月(27) 2012年10月(30) 2012年09月(21) 2012年08月(26) 2012年07月(2) 2012年06月(13) 2012年05月(19) 2012年04月(12) 2012年03月(9) 2012年02月(21) 2012年01月(27) 境内中央の小さな社殿が国長宮。 2011年12月(26) 2011年11月(26) 2011年10月(29) 2011年09月(31) 2011年08月(26) 2011年07月(2) 2011年06月(18) 2011年05月(22) 2011年04月(15) 2011年03月(6) 2011年02月 (26) 2011年01月(28) 2010年12月(34) 2010年11月(26) 2010年10月(31) 2010年09月(32) 2010年08月(28) 2010年07月(3) 2010年06月(21) 2010年05月(36) 2010年04月(35) 2010年03月(36) 2010年02月(65) 2010年01月(30) 2009年12月(39) 2009年11月(40) 2009年10月(39) 2009年09月(31) 2009年08月(26) 2009年07月(3) 2009年06月(9) 2009年05月(30) 2009年04月(31) 2009年03月(25) 社殿裏の小さな祠が本殿かな。 2009年02月(27) 2009年01月(26) 2008年12月(27) 2008年11月(25) 前へ 2008年10月 (26) 2008年09月(27) 2008年08月(22) 記事一覧 2008年07月(30) 2008年06月(22) 上に戻る 2008年05月(8) 2008年04月(9) 2008年03月(17) 2008年02月(16)

Ameba →ホーム →ピグ →アメブロ

◆ 完売して買えなかったスタバ商品 当 芸能人 プログ (章 人気フログ…… Ameba新規登録(無料) 説明板以かにここが備削国庁跡だと感じられるものはありませんでし 2007年12月(18) +

2007年12月(18)
2007年11月(18)
2007年10月(16)

2007年09月(4)

2007年05月(2)

2007年01月(1)

一覧を見る

このブログを検索する



備前国庁跡を後にして北西へ向かう。 龍ノロ山麓の祇園に備前国総社が鎮座。



県道219号線からの参道。



境内入口。



鳥居。

前へ コメント する

記事一覧

Ameba →ホーム →ピグ →アメブロ





説明板。



## 【備前国総社】

古代律令制下、平安時代末ごろまでには、ほとんどの国に総社が設けられた。

総社とは、国司(国の長官)が逐一出向いて巡拝すべき各神社が、 国内各所に分散して不便であるため、各祭神を国府の近接の一か所 に合祀することで、参拝を略式化するために設けられたもので、国府 直属の祭祀施設である。

備前国の総社は、備前国府(推定地)の北西丘陵に位置し、国司所祭の古社128の祭神を集めたものと伝えられる。

成立の時期は定かでないが、およそ平安時代と推定される。

律令制崩壊後は、氏神として地域の信仰を集め、中世の神仏習合期、 岡山藩による寛文の神社整理(1666~1667)を経て、現在に至ってい る。

現在の境内地付近には、惣社の内一、同二、馬場といった字名が残っており、かっては一町四方 におよぶ広大な社地が広がっていたと考え られる

現在の社殿は江戸中期のもので、幣殿の天井裏から室町時代前期の 僧形社僧(現安養寺)が三体発見された。

参道。

次へ

前へコメント

する

記事一覧

Ameba → ホーム → ピグ → アメブロ





神門から境内を見る。







今上天皇聖蹟碑前にも「總社」の扁額。

次へ前へ

コメント

記事一覧

Ameba → ホーム → ピグ → アメブロ



読めない…



備前国総社を後にしました。



総社があるので、多分この辺りに備前国府があったのだろう。

(おまけ)

備前国総社から山道を東へ。

次へ

前へ コメント

記事一覧

Ameba → ホーム → ピグ → アメブロ



10分もかからずに脇田山安養寺常行院に到着!



山門。



居館のような境内。



本堂。 境内に備前総社宮幣殿の天井裏から発見された室町時代前期の僧 形社僧があるという。

次へ

前へコメント

記事一覧



裏山は龍ノロ山。



中世には備前松田氏の家臣磯所元常の居城である龍ノロ城があったが、宇喜多直家の謀略により落城。

都・国府・国分寺・国分尼寺(目次)へ戻る

次へがついまする。

上に戻る

https://ameblo.jp/kanezane2/entry-12555886163.html

